

高岸税務会計事務所通信

【コラム】 7月22日の皆既日食は国内で46年ぶり、しかも21世紀最大の継続時間だと大変な話題です。好条件であれば6分39秒の天体ショーを観るために世界中の人々が大枚をはたきました。7分にも満たない宇宙の神秘に。景気が低迷しているとはいえ、商売のヒントとチャンスは眠っていますね。

365日が楽しくてたまらない!「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【超・顧客主義で「愛しあっていますか?」】

各方面でホスピタリティが盛んに叫ばれるようになりました。商売で大事なものは「おもてなしの心」というわけです。現代はサービス社会。どんな場面でも「お金を払うから代わりにやってね」で商売が成り立っています。とても分かりやすい構図ではありますが、いわゆる“顧客のニーズ”を満たせるかどうかの評価の分かれ目であれば、お金とサービスがイコールのレベルではちょっとありがたみに欠けます。



頭に「お金 < サービス」の図式が浮かんだとき、人は初めて「ありがたい」と思い、そこにおもてなしの心を感じるのです。人は、依怙鼻眞(えこひいき)に敏感で、不公平感を察知すると途端に文句を言い始めます。しかし、特に大事なお客様を特別に引き立てるのも商売です。もっと言えば、「自分は特別扱いされている」と相手に思わせるのも商売の知恵でしょう。

たった1泊のルームチャージが、サラリーマンの小遣いをはるかに上回るリッツカールトンに“あえて”泊まるのは、リッツの「感動するほどのホスピタリティ」を求めてのこと。「年会費は高いし、たいして使わないけど」と言いながらもアメックスを解約しない理由は、24時間対応のコンシェルジュ(チケットなどを手配してくれる)サービスが“使えるから”だとよく聞きます。今どき、お客様を愛する「顧客主義」は当たり前。リッツやアメックスが実践しているのは、お客様との相思相愛を目指す「超・顧客主義」でしょう。値引きや付け届けのような、表面的で一過性のサービスを提供するのがおもてなしではありません。

お客様と相思相愛になって愛しあうには「本当に助かるよ」と感謝してもらうことです。お客様の顔を一人ずつ思い浮かべ、相手の役に立つことを本気で考えてみましょう。景気が低迷しているこんなときだからこそ、おもてなしの心をベースとした「超・顧客主義」は、必ず商売のヒントになり得るだろうと思います。あなたは今、瞼の奥に浮かんだお客様と「愛しあっていますか?」。



トレンドを斬る!

ベランダや庭先で野菜やハーブを栽培する「フードニング」が静かな人気です。育てる楽しみに加え、数百円の苗から多くの

野菜を収穫し、食卓でも味わえることから節約術としても注目を集めています。手軽なハーブやミニトマトから始め、なすやレタス、かぼちゃなど収穫が本格的なプチ農業に挑戦する若い女性も増えてきました。食への安全意識が高まり、国を挙げて農業改革が進められている今、自給自足を実践するフードニングはその先駆けとも言えるでしょう。



今を生きる
先人の言葉

いふかぶつあつたことは、
すべて入り口でもとびまわります

フランスを代表する哲学者であるミシェル・ド・モンテーニュの言葉。昨日できたことは今日もできる。今日できたことは明日もできる。決着は、その日のうちに。

知っとこ!「税務のマメ知識」

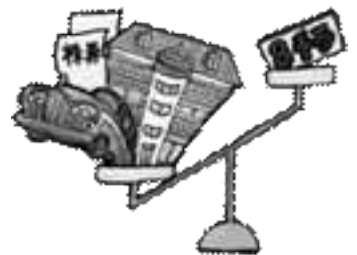
【相続対策は、“ ” ほど効果があります】

年収 1000 万円を超えている世帯は、近年増加傾向にあるようです。その反面、年収 200 万円以下の労働者も少なからず増加傾向にあり 2006 年には、なんと 1000 万人を突破したそうです。

「一億総中流」。日本国民の大多数が、自分を中流階級だと考えるこの意識も近年では薄れつつあります。格差社会の急激な拡大が、その原因のひとつかもしれません。

さて、格差社会が拡大すると、さらに特定の人に「富」が集中するようになります。そのため「相続税」では、相続する場合に一部を税金として国に集めて「富」を再分配するという考えがあります。その相続税には、「5000 万円 + 法定相続人の数 × 1000 万円」という基礎控除があります。

例えば、夫婦と子供 2 人の 4 人家族で、ご主人が亡くなり法定相続人が奥様と子供 2 人の計 3 人となった場合には、基礎控除の額は 8000 万円となります。従って、ご主人が残した財産の合計が 8000 万円を超えていれば、基本的には



相続税が発生することになります。また今後、格差社会が今以上に拡大していけば、税制も変わり、この基礎控除額も下がる可能性が十分に考えられます。「相続対策は、“早い”ほど効果があります」ので、できるだけ早めの対策を検討されるようお勧めします。

今さら聞けない 経済用語

【今月の教えてキーワード：ホワイトナイト】

敵対的買収を仕掛けられた会社の経営者が、買収されると自分たちが追い出されてしまうと考え、自社と友好的な関係を持つ会社に、自分たちに有利な条件で買収してもらうよう働きかける相手企業をさす言葉。助けに現れる「白馬の騎士」に例えたもの。2006年、首都圏に弁当・総菜店を持つオリジンがドン・キホーテに買収を仕掛けられた際、イオンがオリジンの株式公開買い付けに乗り出したのは、その一例だと言われている。

サラリーマン妻
川柳

大爆笑
隣を見たら
しらけ顔
笑って
はいるの
だけ私?
(笑)

高岸税務会計事務所

〒569-0803

大阪府高槻市高槻町 9 - 19 - 202

電話：072-683-0230 FAX：072-683-0376

<http://www.gishitax.com/>

mail：info@gishitax.com